

# わーるど

第7号  
2003. 10. 1

## 15年目のふれあい交流

8カ国10人の留学生がホームステイ



万葉の森にて

▲左から、ハイ(カンボジア)、コナン(ベトナム)、レイモンド(マレーシア)、グディラ(タンザニア)、マイ(ベトナム)、ジュリー(ラオス)、アーニャ(ロシア)、ケット(タイ)、ヨクピン(マレーシア)、ムンフトヤ(モンゴル)

「向学心が強く真面目に過ごす姿は、ベトナムの未来を感じました」とは昨年のホストファミリーよりの感想でした。本年も恒例となった「いなみ野の里」外国人留学生ホームステイ事業は8月初めの1週間、10名(8カ国)の外国人を迎え、成功裏におわりました。歓迎会で「すべて皆からは国家に貢献するという熱意が伝わり、「勉強が趣味」という若者がいて感激した次第です。あいにく日台風にたたられ「老人クラブとの交流」すなわち草履つくりもお流れになってしまいました。



▲バンロー-市長と

話は変わって、現在兵庫県と姉妹都市提携の西オーストラリア州パース近郊へ稲美町の中学生を派遣交流させることが計画中です。当分は調査が必要で、私も調査団のひとりとして8月末に行ってきました。

案山子

海外のときめき—わが町に新風を

稲美町国際交流委員会  
委員長 荻内 捷之

## シリアの文化などを学ぶ

### 異文化理解講座



▲イランの民族楽器「タール」について、レーザさんにインタビュー

6月15日(午後)、青年海外協力隊の日本語教師としてシリアに2年間滞在した経験をもつ平山美佳さんを講師に招いて、「シリアの宗教、文化、生活体験談」と題した講座を開催しました。

神戸大学大学院在学中のレーザさんによるイラン音楽の演奏後、平山さんがスライドを用いながらイスラム教の教えなどを解説。参加者は「イスラム教によって、すべてが作られていることがわかった」「身近な体験談が聞けてよかった」などと話しました。

委員会としては、少人数でもよいので、興味のある国際理解の話が身近に聞ける機会をこれからもつくっていききたいと思います。

## 初体験

### 手打ちうどん・そば作り

6月15日(午前)、町内の外国人の住民に日本の食文化を知ってもらおうと「手打ちうどん・そば作り教室」を開催しました。

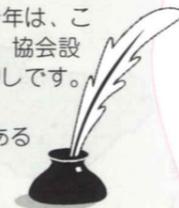
参加したのは、インドネシア、ラオス、オーストラリアから来日した住民8人と国際交流委員で、夢づくり案内人の長尾禎則さんの指導のもと、生地の練り込みやめん棒を使っての伸ばし作業を初めて体験。「めんの太さをそろえるのが難しかったけど、面白い体験ができた」などの感想が寄せられました。もちろん、できたてのお味はgoodでした。



▲案内人の長尾さんから「弟子にしたい」との声も聞かれました

## 編集後記

留学生のホームステイが終わった後には、必ず感動と充実感に満ちあふれます。今年も、この事業の後にも、中学生の海外派遣、協会設立準備、料理教室等々、事業が目白押しです。人手が足りません!!  
皆さん、少しでも国際交流に興味ある方は気軽にご参加ください。(N)



## 開講中

### 日本語講師養成講座



▲五味先生(県国際交流協会登録講師)の指導は、とてもわかりやすいと好評

町内には約200人の外国人の人たちが住んでいて、その中には日本語を上手に話せない人もいます。最近、ラオスとタイの人から日本語を教えてほしいと依頼がありました。

委員会では、「日本語を習いたい外国人の人たちもっているのではないかと考え、ボランティアで日本語を教える先生を育てる「日本語講師養成講座」を始めました。

現在、広報などの募集で集まった32人が、7月から11月までの5カ月間のプログラムで熱心に勉強を続けています。講座の終了後、日本語を習いたい外国人の人たちを募集して日本語教室を開講する運びになりますが、受講生のみならず日本語講師として活躍することが期待されます。





# 歓迎会

▲今日から8日間、よろしくお願いします

バスを降りた時、私はとてもビックリした。そして家族と会ったからとても楽しかったです。(ムンプトヤ)

子どものバンドの温かい歓迎を受けたからとても嬉しかったです。(ケット)

ももちゃんは恥ずかしく私に自分で書いた絵をくれました。その時私はとても喜びました。(マイ)

初めて稲美町に来た時、温かい歓迎を受けてとても嬉しかった。皆はフレンドリーにしてくれた。(ジュリー)

子どもは私たちに踊ったり、歌ったりしたから、疲れた気持ちもだんだん減りました。(レイモンド)

# 楽しかった8日間

私はバスを降りた時、大勢の子どもを見た。後ろにホストファミリーたちは花を持って並んでいました。(コナン)

私は迎える踊りを感じました。そして、ご家族に会うのはとても楽しかったです。(グディラ)

鼓笛隊とバトンの歓迎のダンスを踊ってくれたこと、ホストファミリーに会ったことが嬉しかったです。(ヨクピン)

和田さんの家族はとてもいい人だと思います。この人はとても親切です。(アーニャ)

お父さんとお母さんから花束をもらい、テーブルの上にカンボジアの国旗を見て心が落ち着きました。(ハイ)

## 中学生との交流



▲全員が誕生日順に並んで、グループをつくりました

いろんな国の留学生の方たちがいたし、皆さん明るい人たちだったので、すごく楽しかったです。国が違って、仲よくできることがうれしいです。(三枝 紗耶香 稲中)

僕は、外国人の人と話すのは初めてだったけど、カンボジアのハイさんが、自分から話しかけてくれたので、すごく、接しやすかったです。(池田 輝寿 稲中)

モンゴルの言葉の発音がむずかしかった。モンゴルの言葉を学べてよかったし、楽しかった。(大西 優太郎 稲中)

## 万葉茶会

▲抹茶をどうぞ(憩いの館)

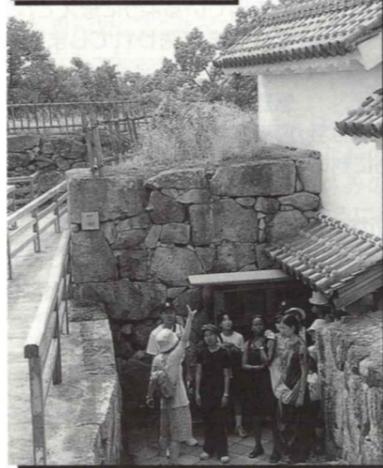
日本は茶道が世界中で知られているから、私はお茶を見たり、習ったりする事はとても良かった。(マイ)

この万葉茶会から日本の大切な文化を教してもらいました。(ムンプトヤ)

茶会を見て日本の礼儀作法は、とてもいいんだと思う。それを見て穏やかになりました。(ジュリー)

高校生にお茶とお菓子をもらいました。私はお茶を飲むことができるようになりました。(グディラ)

## 姫路城



▲姫路城の歴史・文化に興味しんしん

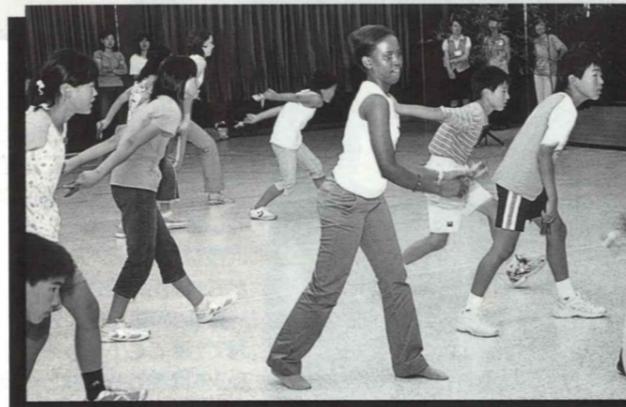
マレーシアの人と初めて話すとき、何を質問すればいいのか、わからないし、ぜんぜん話が進みませんでした。けど、一度思いっきり話しかけたらどんどんしゃべることができました。どんなことでも勇気が必要なんだなあと感じました。(福田 諭孝 加古小)

タンザニアのグディラさんは、やさしくて、写真や地図をたくさん教えてくれた。私もあんなふう外国に行っているいろいろなことを知りたくなった。一番行きたいところがタンザニア。また、あの人たちに会いたいなあ。(島 奈々子 加古小)

日本とジュリーさんの国の学校は全然ちがうことがわかった。日本は6歳になると入学するけどオーストラリアは5歳で入学するし、小学校は5年間しか行かないというのにびっくりした。(林 実穂 加古小)

ジャンケンゲームのときムンプトヤさんがベトナムのジャンケンを教えてくださいました。日本では、グー・チョキ・パーだけど、ベトナムではひとさしゆび・なかゆび・くすりゆび・こゆび・おやゆびでジャンケンをしているらしいのです。かけ声は「1・2・3」と言うそうです。(熊倉 美亜 加古小)

## 小学生との交流



▲よさこいソーランなどを踊りました(加古小学校)

世界遺産という姫路城は、昔から私はもう行きたがりました。その城は、世界中でいちばん有名な日本の古い城です。(レイモンド)

姫路城は荘厳な雰囲気がありました。世界文化遺産らしいです。(ヨクピン)

木ばかりで作った部屋があって、階段を登ったり降りたりしているのに楽しかった。(コナン)

## 町内工場見学



▲おいしいチーズはこうしてつくります

日本の工場の経営はとてもいいと思います。この工場に働いている人は、とても上手だと思います。(アーニャ)

私はチーズについてあまり知らなかったの、とても勉強になりました。(ハイ)

チーズを作ることをいっぱい習った。チーズがもっと好きになりました。(ケット)



▲東播磨高校の茶道部の皆さんといっしょに

## お別れ会

さよなら！  
また会おうネ



▲稲美町は第2のふるさとです

### 初めてのホストファミリー



大 向 佐都子 (稲美野荘園)  
留学生 ニャムドルジ・ムンフトヤ(モンゴル)  
愛 称 ムンフトヤ

モンゴルからの留学生ニャムドルジ・ムンフトヤはすらっと背の高い、美しい顔立ちをしたシャイな女の子でした。見た目には私たち日本人となら変わるところがなく、すぐに親近感を覚えました。

時間を見つけてはモンゴルのことをいろいろ教えてもらいました。モンゴルの歴史や慣習、モンゴルにも近代的な建物はたくさん建っていること(あたりまえなんだろうが)、多くのロシア人が住んでいること、夏は暑いものの乾燥していて、冬はマイナス30度まで気温が下がること、共稼ぎの夫婦が多いこと、彼女自身の家族・夢・結婚観などなど、ムンフトヤは一生懸命私たちに語ってくれました。

初めてのホストファミリーでしたが、忘れがたい素晴らしい経験でした。モンゴルという国がぐっと身近な国になったように感じます。また、学生時代に国際交流の活動をしていました私どもにとりましては、若返った一週間でした。

最後になりましたが、ムンフトヤの夢がかないますよう、家族全員心より祈っています。

### 楽しかったホストファミリー

石 見 克 也 (六軒屋)  
留学生 ブン・ハイ(カンボジア)  
愛 称 ハイ

2003年8月3日、初めて我が家に外国人が来た。名前はブン・ハイ君。カンボジア生まれの19歳の男子学生。

礼儀正しく、日本語も上手によくしゃべった。彼の趣味は「勉強」とのこと、勉強ばかりの毎日だった。

食べることにしては何の問題もなく、何でも喜んで、よく食べてくれた。作る方にも興味をもって、メモしながら、自分でも「作って食べます」と言ってくれた。

行事日程が、ハイ君にとっては、少し多かったようだが、中にはすごく喜んだものもあって、とてもよかったと思う。夏休みのこの時期、この日数は適当であったように思う。とてもいい子で、よかった!



### Thailandの可愛い女の子

中 谷 直 之 (印西南)  
留学生 ポンタナラート・クリティニー(タイ)  
愛 称 ケット

この夏、やってきたのはThailandの可愛い女の子(こ)・・・「Kate」(ケット)17才。

8月3日、いよいよ我が家での8日間の生活が始まった。こちらは、ホストとしての特別な気負いもなく、普通の生活の延長線上で接するが、彼女は理解してくれるだろう・・・と勝手に解釈する。私達夫婦は、Thailandでは仏教が1日の生活の中に深く根付いており、そこに暮らす人々は礼儀正しく、穏やかであるという実体験と認識があったが、彼女の普通の生活ぶりを見ると、やはりその事が実感できる。

靴を脱いだら手に持ってクルッと回し、キチッとかかとをそろえ隅に置く。朝起きたら、布団は、四隅をそろえていないにたむ。食事の用意は、必ず手伝おうとする。自分の物はあまり欲しがらず、国のママに日本のお菓子を買



送ってあげる・・・等々。

普通の生活が淡々と過ぎ、楽しみにしていた大池祭りの花火も延期になってしまったが、その分、家で会話を楽しむ事ができて良かったかも。パパ達も、今度Katelに会えるまで、タイ語が上手く話せるように頑張るので「ハロー・サワディ・カー」と言って電話をしてきてね。

「ほな、さいなら! ポップ ガン マイ ナ!」

### ロシアの女の子を受け入れて

和 田 直 子 (六軒屋)  
留学生 コンドラシナ・アンナ(ロシア)  
愛 称 アーニャ

一言! 楽しかったです!!

受け入れが決まってから、家族全員での大掃除。年末ですら見る事のない和田家の姿でした…。

留学生はロシアの女の子でしたが、日本の事をすごく勉強していて歴史は私たち家族よりよく知っていました…(反省)。日本語も上手で言葉が少しわからない時があっても、漢字もすごく勉強しているので漢字を書いてくれたりし、まったく会話には困りませんでした。

終わってみれば一週間は短かったです。帰ってしまうと私にとっては、妹&友達のような感じから、すごく寂しいと毎日のように思っています。

初めての体験でしたが、家族が一つになれた事が一番よかったし、家も綺麗に…(今は??)なったし、ロシアの友達もできたし、本当によかったと思っています。ありがとうございました。



### ベトナムのミン君を迎えて

三 木 千 江 美 (国岡)  
留学生 ヴ・コア・ミン(ベトナム)  
愛 称 コナン

ミン君が生れて初めて作った我が家での春巻きに「ベトナムのお母さんと同じ味がする」と、笑顔で答えていました。

彼の心の中はいつも家族からの深い愛で満たされていて、まるで愛の泉に美しい清らかな水が湧き出ているように思えて、こちらの心まで洗われてしまうのです。

感謝の言葉やお互いを大切に



思っていることをメッセージで伝えること。それは我が家ではいつか、子供たちが思春期を通過する時に恥ずかしさや照れとともに封印して置いてきたものであったことに気付かされました。

家族が家族と感ずること、これはとても大切な事だと思います。

今年の短い夏に我が家の食卓には、ちょっと甘酸っぱいアジアンテイストのごちそうと共に、私たち家族にはびりとした塩・コショウがとても気のきいた味付けとなりました。

### ようこそ我が家へ

槇 時 子 (国岡)  
留学生 ウー・ウェン・ボン(マレーシア)  
愛 称 レイモンド

今年、初めてホストファミリーに応募しました。

日本語が通じるのか、食事はどんなメニューにしようかと不安でしたが、前日レイモンドから電話があり、話をしているうちに自然に我が家の一員のように感じられ、不安も吹き飛びました。

中国系の彼はとても勉強家。漢字も得意で、特に、日本の文化、習慣に非常に興味を持っていて、姫路城、明石大橋、鳴門のうず潮を見学した時は目を輝かせていました。

夜はマレーシア、家族、日本のこと、私達の故郷の方言など、いろいろ話をして、とても楽しい毎日でした。

最後の夜、家族、友人、大勢で焼肉パーティーをしました。レイモンドは浴衣を着て、とてもうれしそうでした。彼が作ってくれた東南アジアの焼きめし「ナシゴレン」はとても美味しく、皆に大評判。その味忘れません。

レイモンド、目標に向かって頑張れ! お父さんもお母さんも応援しています。



